

新川こども屋内レクリエーション施設 の整備に関する検討会

(第 4 回)

令和 4 年 1 月 1 7 日

富 山 県

- 1 第3回検討会でのご意見について
- 2 施設計画(施設整備費及び施設運営費)及び想定来館者数
- 3 5W1H的整理(最終版)
- 4 施設名称(仮称)の変更
- 5 スケジュール

【参考】建物外観、展示ゾーンのイメージ

1 第3回検討会でのご意見について

2 第3回検討会でのご意見について

分野	主な意見	対応
施設関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築地は文化ホールとの距離感や景観、屋外空間の活用性も踏まえ②と③の間（やや③より）がよい。 ・ 自然を感じたり雪遊びや鬼ごっこができたり多用途に使えるフリースペースを設けてほしい。 ・ 魅力的な遊具より、かくれんぼや鬼ごっこなどのシンプルな遊びができる場のほうが繰り返し楽しめる。 ・ 新川地域全体から子ども達が集まる施設にすべき。地域の類似施設等とも連携し、新川地域の子ども達の環境をどうしていくかという視点で検討していくべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築地は、②を前提に新川文化ホールからの距離や景観等に配慮のうえ、今後検討する。なお、具体的な建築場所については、地盤の状況等を踏まえ決定する。 ・ 施設の特徴である「シームレスな空間」の創出、建物自体が「遊び場」となるよう検討する。 ・ ゾーニングの検討にあたって、子どもたちが遊び方を自由に発想できる、自由度の高い空間づくりを目指す。 ・ 今後の施設整備や運営の検討にあたっては、<u>新川地域の類似施設等との連携を念頭に置いて進める。</u>
人材関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学等の夏休み期間に、保育士、教員志望の学生に加え、音楽、芸術、理工学部など多様な専攻の学生の力を借りて子ども達を楽しませる企画ができるとよい。 ・ テクノロジーを学ぶ大学生が子ども達と一緒にメディアアートを作るなど、一緒に遊べる取組みができると面白い。 ・ 地域の方の参画も視野に入れた画期的な維持管理の方法も検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏休み期間中の学生のインターンシップの場としての活用を検討しており、学部・専攻や県内・県外を問わず、幅広く学生の受入れができるよう検討する。 ・ 文科系、理工系を問わず、<u>学生のインターンシップの場としての活用を検討するほか、ワークショップへの参加についても検討する。</u> ・ 施設運営に関わる人材を地域から発掘するサポーター制度やボランティア登録制度のスキームにおいて、維持管理の方法も検討する。

2 第3回検討会でのご意見について

分野	主な意見	対 応
運営関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ インクルーシブな場は、単に障害の有無という事だけでなく、全ての子ども達を受け入れられることが重要である。 ・ 施設の独自性を出すためには、全世代的な参加が必要。親にとっても面白い体験ができる施設にすべき。 ・ ゼロカーボンの建物づくりをしてはどうか。スマートグリッド的な考え方も取り入れて、子どもたちが体験しながら学べる施設になるとよい。 ・ (子ども施設以外の) 他用途にも使えるよう規制緩和するなど、うまく活用する方法を検討してほしい。 ・ この施設に即効的な経済効率や24時間収益を求めるのは違う。PFIはリスクがあるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご意見を踏まえ、整備方針の1つに「<u>独自性や先進性に優れたインクルーシブな施設</u>」として反映する。 ・ 「<u>同伴者（父母、祖父母）も満足できる施設</u>」を施設整備方針に掲げており、<u>具体的な展示、運営等については今後検討する。</u> ・ <u>どのようなことが可能か、「新県庁エコプラン」策定の趣旨等を踏まえ、今後検討する。</u> <p> } <ul style="list-style-type: none"> ・ 本施設のコンセプトや検討会でのご意見をふまえ、令和4年度に予定している<u>民間活力導入可能性調査</u>の中において、<u>具体的な運営手法について検討する。</u> </p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小さな子や障害のある子も楽しく遊べる施設を新川地域にも早く作ってほしい。 ・ 多くの子どもたちが関わり合ってコミュニケーションが生み出される場となる遊具を設計してほしい。 ・ 新川文化ホールの隣に違うコンセプトの施設ができることでエリアの価値が変わり、日常的に遊びに行ける場となることを期待している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度に予定している民間活力導入可能性調査の中でスケジュールについても検討することとしているが、<u>なるべく早期の開業となるよう努める。</u> ・ 展示計画において、遊具スペースは「<u>コミュニケーション能力…などの非認知能力を育む</u>」としており、<u>具体的な遊具は今後検討する。</u> ・ 新川文化ホールを利用される方との連携については、<u>今後検討することとしており、両施設で相乗効果</u>が生まれるよう努める。

2 施設計画(施設整備費及び施設運営費)及び想定来館者数

①施設整備費の見込み

設計費＋工事費で、約24億～28億円程度 を想定

※但し、建築地の地盤状況や導入する遊具、備品等のグレードによっては、整備費が変動する可能性がある。

《算定の要件》

- ・施設規模は延べ床面積2,000㎡～2,500㎡程度を想定
- ・県内の類似施設である「富山県こどもみらい館」（H4開館）の初期整備費（建物㎡単価）を参考に、建築工事費デフレーター（非木造非住宅）並びに物価上昇率を加味し試算

②施設運営費の見込み

初年度 約1億円程度 を想定

※但し、物価の変動等によっては、運営費が変動する可能性がある。

《算定の要件》

人件費、事務費、事業費、施設費及びその他必要経費について、他県類似施設の事例や、想定される事業内容から試算

③想定来館者数

初年度 約10万人程度 を想定

《算定の要件》

県内の類似施設である「富山県こどもみらい館」の令和元年度入館者数（15.1万人）を基に、こどもみらい館と新川文化ホールの半径30^キ。圏内の人口を比較し試算

3 5W1Hの整理（最終版）

3 5W1H的整理(最終版)

視点	内 容
<p>■ Why (何のためにするのか)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私たちは、こどもたちが、これからの不確実な時代を生きていくうえで、<u>こどもたちの将来を見据えた人間形成</u>に役立つ、潜在的な生き抜く術を伝えていくことが責務だと思っています。 ・ そのため、<u>地域に住む人々や企業も運営に参加</u>していただき、こどもたちが<u>郷土の素晴らしさを理解</u>するとともに、遊びを通して生きる力を養っていくべきだと考えています。 ・ 本施設は、その「思い」を「カタチ」にするものです。
<p>■ How (どう実現するのか)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ メインターゲット 幼児～小学生（低学年） ・ サービス展開 非認知能力、運動能力、創造性の向上に貢献するサービス ソフト面を充実し、リピートしたくなるサービス
<p>■ What (何をするのか)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ソフト面 魅力的なスタッフの配置、イベントやワークショップの充実、地域の人々や企業の協力など ・ ハード面 屋内においてシンボリック・子ども自身が考える遊具の設置、用途変更可能なフリースペースの設置、シームレスな空間の創出、新川文化ホールとの回遊性など
<p>■ Who (誰がするのか)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富山県（民間活力導入を検討）
<p>■ Where (何処でするのか)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新川文化ホール敷地内
<p>■ When (いつするのか)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度 民間活力導入可能性調査（予定） ※開館時期は未定

4 施設名称（仮称）の変更

4 施設名称(仮称)の変更

施設名称(仮称)

(※正式名称は、後日公募等により決定)

現在：新川 こども 屋内 レクリエーション施設

①

②

③

④



変更後：新川 こども施設

①

②

理由

- ・ コロナ禍で顕在化した不確実性の高まりや、「真の幸せ」（ウェルビーイング）の向上を目標に据えた富山県成長戦略に基づく施策の推進、富山県教育大綱の改定、検討会でのご意見等を踏まえ、遊びを通して「非認知能力」、「運動能力」、「創造性」を育む施設という方向性が定まったため。
(≠単純なレクリエーション施設)
- ・ 敷地特性を生かして屋内外のシームレスな空間を創出するほか、新川の自然とふれあえる“ベースキャンプ”的な機能も有する施設を目指したいため。
(≠単純な屋内施設)

5 スケジュール

令和3年度
の目標

基本計画の策定

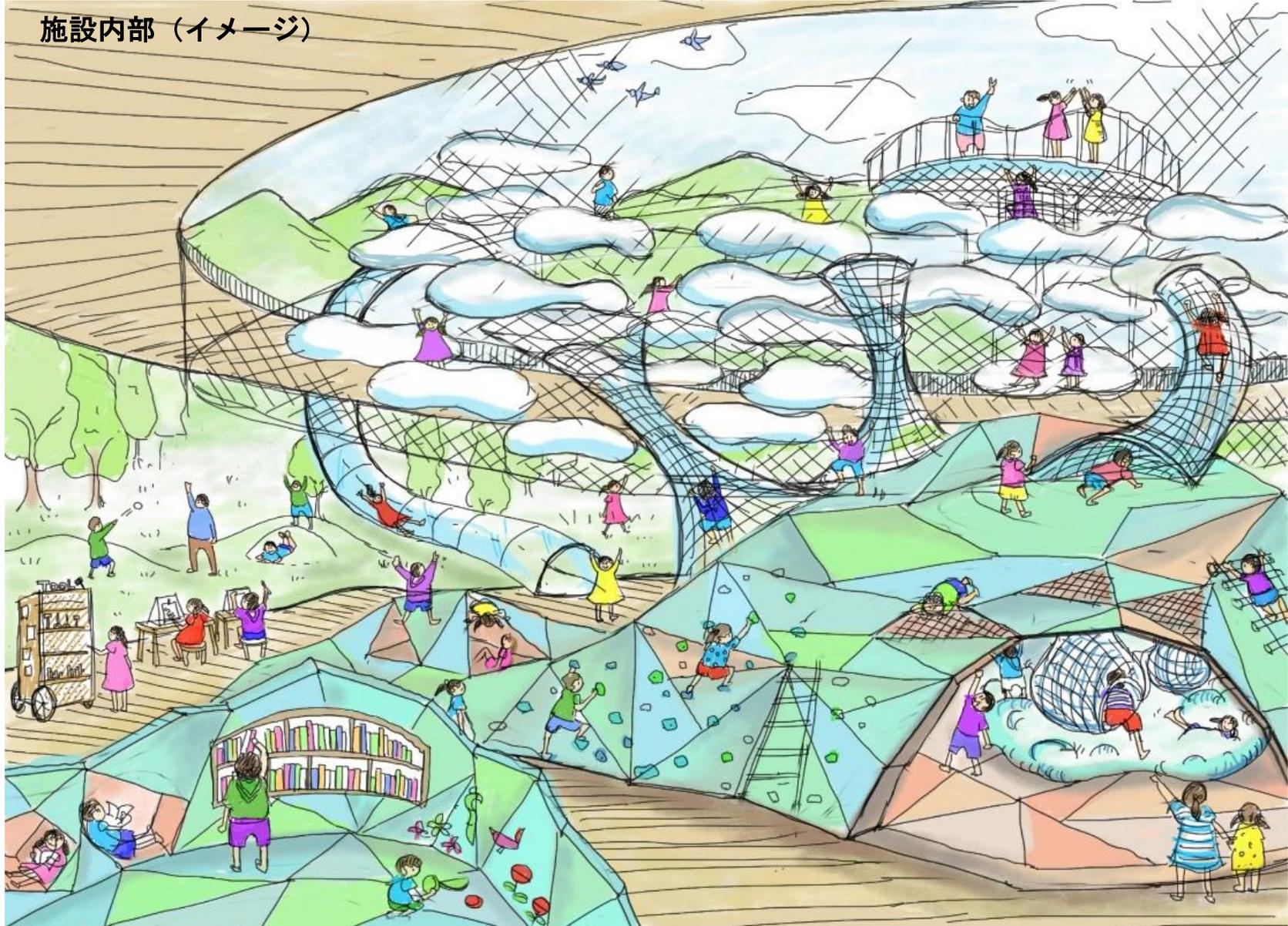
※スケジュール（案）

初回（R2. 7. 10）	第1回検討会（コンセプト等についての意見交換）
前々回（R3. 7. 29）	第2回検討会（基本的な方向性の議論）
前回（R3. 10. 26）	第3回検討会（基本計画（素案）の議論）
<u>今回（R4. 1. 17）</u>	<u>第4回検討会（基本計画（案）のとりまとめ）</u>
令和4年1～2月頃	パブリックコメントの実施
令和4年3月頃	基本計画の策定
令和4年4月以降	民間活力導入可能性調査（予定）

施設外観（イメージ）



施設内部（イメージ）



E O F